

9月5日(月)

おはようございます。

先日私の親友で立志館ゼミナールの中村俊一先生から聞いた話があります。中村先生は、北原照久さんという「なんでも鑑定団」というテレビに出ているおもちゃの専門家の方と親しくされていて、その人から聞いた話だそうです。先生もたまに講演などで話されるのだそうです。伝言ゲームみたいに又聞きなのですが、あまりにもいいお話なので紹介します。

まず自分の健康は何によって決まるかという話です。これから清風でも食堂がはじまります。清風の食堂は、最初は学年毎に順繰りに使ってもらうことになります。私も試食してみましたなかなか美味しいです。自然栽培のお米、つまり、農薬や化学肥料を使わないで栽培したお米を使います。最近アレルギーの子どもが多いので、食品に使われる農薬なんかも影響しているのではないかと考えて、決めました。たとえば、青魚を食べたら頭がよくなると言われていました。ドコサヘキサエン酸が多く含まれているからです。というわけで、健康は自分の食べるものによって決まる。つまり自分の食生活によって健康は決まると話されたそうです。

次に、自分の考え方は何によって決まるかという、人のお話を聞いたり、本を読んだりして、いろいろ学ぶことによって自分の考え方というのは決まってくる。

それでは、自分の未来はどうやって決まるのか。北原さんは、自分の未来は自分の吐いた言葉によって決まってくると言われたという。これは本当にいい言葉だなと思うのです。たとえば不満ばかり言っていたら、そういう未来になる。希望の中に幸福を見出すというお話を先日しました。九月三日にジェーン台風で校舎が倒壊し、もう学校をやめてしまおうかと思ってもおかしくなかった。そのとき校祖平岡岩峯先生は、「木造はだめだな。鉄筋コンクリートの校舎を作らなくてはいかん」と言われた。周りの人たちは、校長は気が変になったのではないかと心配をした。しかし校祖はそういう言葉を自分で吐いて、自分を鼓舞して、新しく道を切り開いた。これは絶対的に追い込まれた状況において、自分を高めて行くのは自分の持っている希望だけだと思って、自分を鼓舞した言葉だったのです。自分を鼓舞する前向きな言葉を吐いたことによってその後の人生が決まった。そのお陰で現在の清風がある。

つまり、未来というのは文句ばかり言っていると、そういう人生になるということです。自分を高める言葉を吐いたらそういう人

生になる。自分の吐いた言葉によって自分の人生が決まってくる。本当にそうだなあ、とてもいい言葉だなと思います。

人間は、ついついつまらないことを言ってしまうものですが、そうではなくて、自己暗示のように自分を鼓舞する言葉をしゃべって行くのでなくてははいけません。希望の中に幸福を見出すというのはそういうことです。変化の激しい時代で、自分の思うようにはなかなかならない、そういう時代だからこそ、諸君も自分を鼓舞する言葉を自分に言い聞かして毎日の生活を送ってもらいたいと思います。以上で今朝の話は終わります。

学校長